

業務の実績に関する評価結果の反映状況

(根拠法令：地方独立行政法人法第 29 条、同法第 78 条の 2 第 7 項)

○公立大学法人北九州市立大学の平成 30 年度評価結果の反映状況

平成 30 年度評価における II 評価の項目		令和元年度の業務運営等への反映状況
教育	大学院の定員充足	<p>大学院の定員未充足は全国的な傾向であり、とりわけ人文社会系の研究科において定員充足率が低く、全国的な課題となっている。</p> <p>このような全国的な状況に対応すべく、社会システム研究科博士前期課程及び博士後期課程において、本研究科の在り方について検討する WG を立ち上げることが決定した。(2020 年度設置)</p>
管理 運営	公的研究費における法令遵守の徹底	<p>評価委員会の提言を踏まえ、事前防止策による「事務局が介入する体制」を構築することで不正防止の強化を図った。</p> <p>具体的には、研究補助従事者の管理体制において、研究補助従事者の従事計画を教員だけでなく事務局も把握することで管理体制を強化し、備品の管理体制においては、事務局が実施する納品検収の厳格化や転売防止の備品管理シールの貼付を実施することとした。</p> <p>また、2020 年 2 月に実施した公的研究費内部監査において、事務局による備品の現物確認や研究補助従事者へのヒアリングを実施し、特に問題ないことが確認された。</p> <p>今後も、引き続き不正防止の取組みを徹底していくこととしている。</p>